

W21a スペース VLBI 計画：ASTRO-G(VSOP-2) プロジェクトの進捗（その3）

村田泰宏、齋藤宏文、坪井昌人、満田和久、紀伊恒男、他 ASTRO-G プロジェクトチーム

ASTRO-G は、VSOP に続くスペース VLBI プロジェクト VSOP-2 計画として提案され、2012 年度の打ち上げを目指して開発を進めていた。プロジェクトは、2008 年度から基本設計フェーズ (Phase-B) にはいり、約 9m 口径の展開アンテナ (LDR) をはじめとする技術課題の検討を進めていたが、その開発の過程で、当初のアンテナの感度を達成するために影響の大きな技術課題などプロジェクト遂行上の問題が発生していた。(坪井講演参照)

JAXA は、この技術課題について克服の見通しが得られるかどうかを見極めてからプロジェクトを進めるべきと判断し、プロジェクトを一旦中断して 2010 年の 6 月ころまでに技術課題の克服に注力し、技術実現のめどが立てられてからプロジェクト再開の判断をすることとなった。また、プロジェクト外評価によって、科学目標への影響の検討が不足している点や、LDR 以外の技術課題、国際協力などのプロジェクトを遂行する上でリスクが高い項目の洗いだしが行われ、これらの課題についても 6 月までに見通しをたてることになった。

この困難な状況を乗り切るために、JAXA 宇宙科学研究本部が、国立天文台や各大学などの研究機関と協力して、プロジェクト支援体制を確立し、各種検討を進めている。本講演では、以上の点も含め、現在のプロジェクトの状況を報告する。